

2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東  
 コード番号 7148 URL https://www.fpg.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 谷村 尚永  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 桜井 寛 TEL 03-5288-5691  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績 (2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,824	3.4	984	△34.3	694	△56.1	272	△74.4
2020年9月期第1四半期	3,698	9.5	1,497	15.6	1,579	47.0	1,065	54.8

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 276百万円 (△75.7%) 2020年9月期第1四半期 1,138百万円 (118.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	3.20	—
2020年9月期第1四半期	12.02	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	121,223	26,779	21.9
2020年9月期	132,850	27,484	20.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 26,532百万円 2020年9月期 27,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	11.50	11.50
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	0.00	—	16.50	16.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	7,133	△14.0	2,478	△20.8	2,145	△33.3	1,500	△32.2	17.57
通期	13,865	9.1	4,545	141.9	4,000	132.6	2,800	146.5	32.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	89,073,600株	2020年9月期	89,073,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	3,720,871株	2020年9月期	3,720,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	85,352,730株	2020年9月期1Q	88,612,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) Air Mauritius Limitedを賃借人とするオペレーティング・リース事業の連結財務諸表への影響.....	8
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	10
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	12
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	12
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報) .....	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2019年9月期 第1四半期	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	3,377	3,698	3,824	125	3.4%
売上原価	548	663	1,152	488	73.6%
販売費及び一般管理費	1,532	1,537	1,687	149	9.8%
営業利益	1,295	1,497	984	△513	△34.3%
営業外収益	268	523	660	137	26.2%
営業外費用	489	441	951	509	115.6%
経常利益	1,074	1,579	694	△885	△56.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	688	1,065	272	△792	△74.4%

リース事業組成金額	197,359	51,483	20,919	△30,563	△59.4%
出資金販売額	21,158	23,722	26,937	3,214	13.5%

(注) 本項目における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募の取り扱いを行った額及びリース開始日時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したのものについて、投資家へ譲渡した額の合計額であります。なお信託機能を活用した航空機リース事業案件に係る信託受益権譲渡価額を含めております。

当第1四半期連結累計（会計）期間においては、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、世界経済・日本経済ともに依然として厳しい状況が継続しておりますが、各国が感染拡大の防止策を講じる中、各種政策の効果等により徐々に景気の持ち直しの動きもみられます。このような状況のもと、当社グループは、ウィズコロナ時代を踏まえた中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めました。

当社のリースファンド事業においては、売上の回復基調が継続し、不動産ファンド事業においても投資家の高い需要により、販売が大幅に伸長するなど、新型コロナウイルス感染症が経済に悪影響を与える中ではありましたが、前年同期に比べ増収を果たしました。ただ、一方で、Air Mauritius Limitedが賃借人となるオペレーティング・リース事業（以下、当該リース事業を「AML案件」という。）に関して合計998百万円の評価損・正味費用を計上し、さらに株式会社F P G証券の通貨関連店頭デリバティブ事業の譲渡に関して242百万円の特別損失を計上したこともあり、当第1四半期連結累計（会計）期間の業績は、連結売上高は3,824百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は984百万円（前年同期比34.3%減）、経常利益は694百万円（前年同期比56.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は272百万円（前年同期比74.4%減）となりました。

売上高

(単位：百万円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	増減額
売上高	3,698	3,824	125
リースファンド事業	3,280	2,911	△368
不動産ファンド事業	261	663	402
FinTech事業	—	111	111
その他事業	156	137	△19

売上高は3,824百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

(リースファンド事業)

出資金販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復基調が継続し、順調に販売が進んだ結果、26,937百万円（前年同期比13.5%増）となり、売上高は2,911百万円（前年同期比11.2%減）となりました。一方で、リース事業組成金額は、賃借人に対する厳格な与信審査を継続する等、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた慎重な組成活動を行ったことから、20,919百万円（前年同期比59.4%減）となりました。組成につきましては、将来の販売に向けた在庫確保の観点から、船舶・コンテナについては積極的に、航空機については案件を選別したうえで、信用力のある航空会社・海運会社とのリレーションシップを活かし、着実に組成を積み上げていく方針です。

(不動産ファンド事業)

不動産小口化商品の販売が、投資家の高い需要により好調に進んだ結果、売上高は、前年度の通期売上高に迫る663百万円（前年同期比154.1%増）となり、四半期会計期間（3か月）の売上高として過去最高となりました。

(FinTech事業・その他事業)

FinTech事業の売上高は、111百万円となりました。その他事業の売上高は、137百万円（前年同期比12.6%減）となりました。このうち、保険事業の売上高は、56百万円（前年同期比43.1%減）、航空事業の売上高は、45百万円となりました。

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間より、当社の各事業が目指す方向性をより明快に表現するため、事業名称を以下の通り変更しております。なお、当第1四半期連結会計期間の比較・分析は、変更後の事業区分に基づいております。

旧事業名称	新事業名称	変更理由
リースアレンジメント事業 航空機投資管理サービス事業	リースファンド事業	匿名組合、任意組合、信託受益権など、航空機・船舶等のリース事業を投資対象とするファンドの組成・販売および管理に係るサービスの提供という事業の方向性をより明快に表現するため。
不動産事業	不動産ファンド事業	組合方式または信託受益権方式による不動産小口化商品など、不動産を投資対象とするファンドの組成・販売および管理に係るサービスの提供という事業の方向性をより明快に表現するため。
IT事業	FinTech事業	旧来のIT製品・サービスの提供にとどまらず、当社グループが保有する様々な金融ライセンスと情報技術を組み合わせた新たな金融商品・サービスの提供という事業の方向性をより明快に表現するため。

2. 保険事業、M&A事業、プライベートエクイティ事業および航空事業等を総称して、「その他事業」としております。

売上原価

売上原価は、AML案件に係る販売用航空機評価損490百万円を計上したこともあり、1,152百万円（前年同期比73.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	増減額
販売費及び一般管理費	1,537	1,687	149
人件費	843	946	102
その他	693	741	47

販売費及び一般管理費は1,687百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

これは、主に人件費が946百万円（前年同期比12.1%増）、その他の費用が741百万円（前年同期比6.9%増）となったことによるものであります。

(注)人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は984百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	2020年9月期 第1四半期	2021年9月期 第1四半期	増減額
営業外収益	523	660	137
受取利息	202	183	△18
金銭の信託運用益	179	324	144
持分法投資利益	42	71	28
その他	99	81	△17
営業外費用	441	951	509
支払利息	220	215	△5
支払手数料	210	186	△24
為替差損	—	348	348
減価償却費	—	192	192
その他	10	8	△1

営業外収益は660百万円（前年同期比26.2%増）となりました。これは主に、投資家から收受している商品出資金の立替利息相当額の減少に伴い受取利息が183百万円（前年同期比9.2%減）となった他、金銭の信託運用益が324百万円（前年同期比80.6%増）、関連会社に関する持分法による投資利益が71百万円（前年同期比67.6%増）となったことによるものであります。

営業外費用は951百万円（前年同期比115.6%増）となりました。これは主に、支払手数料が186百万円（前年同期比11.5%減）、支払利息が215百万円（前年同期比2.4%減）、連結計上したノンリコースローンの換算差額を含む為替差損が348百万円（前年同期は2百万円の為替差益）、販売用航空機に係る減価償却費が192百万円となったことによるものであります。

経常利益／特別損益／親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は694百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

事業の選択と集中を図るべく株式会社F P G証券の通貨関連店頭デリバティブ事業を譲渡する予定であり、当該譲渡に関して特別損失に事業譲渡損失引当金繰入額を242百万円計上いたしました。

上記の結果、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は272百万円（前年同期比74.4%減）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、当第1四半期連結会計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(単位：百万円)

セグメント	2020年9月期 第1四半期		2021年9月期 第1四半期	
	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失(△)	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失(△)
F P G	3,234	1,518	3,416	713
F P G AMENTUM	408	65	182	△130
F P G信託	26	△30	138	88
その他	43	△26	223	△19
調整額	△13	51	△135	42
合計	3,698	1,579	3,824	694

(注) 1. 各セグメントの売上高及びセグメント利益またはセグメント損失は、セグメント間取引の消去前の金額を記載しております。

2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. 調整額はセグメント間取引消去額であります。

## (F P Gセグメント)

売上高は3,416百万円（前年同期比5.6%増）、AML案件に関連して合計998百万円の評価損・正味費用を計上したこともあり、セグメント利益は713百万円（前年同期比53.0%減）となりました。

## (F P G AMENTUMセグメント)

売上高は182百万円（前年同期比55.4%減）、セグメント損失は130百万円（前年同期は65百万円のセグメント利益）となりました。

## (F P G信託セグメント)

売上高は138百万円（前年同期比424.8%増）、セグメント利益は88百万円（前年同期は30百万円のセグメント損失）となりました。

## (その他)

売上高は223百万円（前年同期比415.7%増）、セグメント損失は19百万円（前年同期は26百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2020年 9月末	2020年 12月末	増減額
資産合計	132,850	121,223	△11,626
流動資産	126,464	114,625	△11,839
（現金及び預金）	27,158	34,271	7,113
（組成資産）	75,867	59,389	△16,477
（販売用航空機）	14,665	13,982	△682
（その他）	8,772	6,981	△1,791
固定資産	6,386	6,598	212
負債合計	105,365	94,443	△10,921
流動負債	83,218	73,494	△9,723
（借入金・社債）	74,285	64,899	△9,386
（前受金）	5,458	4,170	△1,288
（その他）	3,473	4,424	951
固定負債	22,147	20,949	△1,198
（借入金・社債）	21,746	20,328	△1,417
（その他）	401	620	218
純資産合計	27,484	26,779	△704

(注) 1. 組成資産には、商品出資金・金銭の信託（組成用航空機）・組成用不動産を計上しております。

2. （借入金・社債）には、コマーシャル・ペーパー、ノンリコースローンを含めております。

資産の状況

資産合計は121,223百万円（前年度末比11,626百万円の減少）となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は114,625百万円（前年度末比11,839百万円の減少）となりました。

- ・現金及び預金は34,271百万円（前年度末比7,113百万円の増加）となりました。
- ・組成資産は59,389百万円（前年度末比16,477百万円の減少）となりました。このうち、未販売の匿名組合出資金・任意組合出資金を計上する商品出資金は組成を抑え販売を進めたことから前年度末に比べ減少しました。金銭の信託（組成用航空機）（注）は、一部商品の組替を行ったことにより、前年度末に比べ減少しました。組成用不動産は、新規案件としてF P G リンクス新宿テラスの物件を取得したものの、販売が好調に進んだことにより、在庫は全て完売となりました。

(組成資産の内訳)

(単位：百万円)

	2020年 12月末	前年度末比
リースファンド事業		
商品出資金	30,577	△9,038
金銭の信託（組成用航空機）（注）	28,812	△5,225
不動産ファンド事業		
組成用不動産	—	△2,213



(注) 当社が組成する信託機能を活用した航空機リース事業案件は、当該リース事業を遂行する特定金外信託契約に係る受益権を投資家に譲渡するものであり、当社は、この法的実態を鑑み、未販売の当該受益権相当額を「金銭の信託(組成用航空機)」に計上しております。当該信託契約は、当社が信託の受託者である株式会社F P G信託に金銭を信託し、同社が当初委託者である当社の指図に基づき、当該金銭をもって航空機を購入したうえで、航空会社にリース・市場売却等を行うものであります。信託受益権を、投資家に譲渡することで、委託者の地位が承継されると共に、信託財産から生じる譲渡後の損益が投資家に帰属いたします。

- ・ AML案件に係る販売用航空機は、13,982百万円(前年度末比682百万円の減少)となりました。
- ・ 上記以外の流動資産は6,981百万円(前年度末比1,791百万円の減少)となりました。

#### (固定資産)

固定資産は6,598百万円(前年度末比212百万円の増加)となりました。

- ・ 有形固定資産は471百万円(前年度末比8百万円の増加)となりました。
- ・ 無形固定資産は1,395百万円(前年度末比49百万円の減少)となりました。
- ・ 投資その他の資産は4,732百万円(前年度末比254百万円の増加)となりました。

#### 負債の状況

負債合計は94,443百万円(前年度末比10,921百万円の減少)となりました。その概要は以下のとおりであります。

#### (流動負債)

流動負債は73,494百万円(前年度末比9,723百万円の減少)となりました。

- ・ 借入金・社債は64,899百万円(前年度末比9,386百万円の減少)となりました。これは主に組成資産の取得のための借入金の返済を進めたためであります。
- ・ 第2四半期以降に販売予定の出資金に係る手数料を含む前受金は4,170百万円(前年度末比1,288百万円の減少)となりました。
- ・ 上記以外の流動負債につきまして4,424百万円(前年度末比951百万円の増加)となりました。
- ・ 機動的な資金調達が可能となる、コミットメントライン契約及び当座貸越契約の総額は、当第1四半期連結会計期間末で116,682百万円(前年度末比18,228百万円の減少)となりました。

#### (固定負債)

固定負債は20,949百万円(前年度末比1,198百万円の減少)となりました。これは主に、借入金・社債が20,328百万円(前年度末比1,417百万円の減少)となったことによるものであります。

#### 純資産の状況

純資産合計は26,779百万円(前年度末比704百万円の減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益272百万円を計上した一方で、前年度の期末配当981百万円を実施したことによるものであります。

自己資本比率は、当第1四半期連結会計期間末時点で21.9%(前連結会計年度末は20.5%)となりました。

## (3) Air Mauritius Limitedを賃借人とするオペレーティング・リース事業の連結財務諸表への影響

AML案件に関連し、航空機の時価下落により販売用航空機評価損490百万円を売上原価に計上するとともに、当該リース事業から生じた損益としてノンリコースローンの換算差損等の為替差損311百万円を含む507百万円の正味費用を営業外損益に計上いたしました。この結果、当該リース事業に関する匿名組合出資持分の価額はゼロとなり、今後、これ以上の実質的な損失は生じない見通しとなりました。

当社が保有する当該リース事業の匿名組合出資持分について、AMLが2020年4月にモーリシャス破産法 (Insolvency Act) に基づく Voluntary Administration (任意管理手続き) を申請したため、2020年3月末時点で当該匿名組合出資持分を「商品出資金」として連結財務諸表に計上する会計処理を変更し、当該時点以降、当該リース事業の航空機やノンリコースローン等の関連する資産及び負債、並びに当該リース事業の損益をそれぞれ連結財務諸表に計上する会計処理を行っております。

2020年9月期において、商品出資金評価損、販売用航空機評価損、リース事業の損益等の損失・費用計上や当社手数料の控除を行った結果、当該リース事業の資産・負債の差額として算定される匿名組合出資持分の価額は2020年9月末時点で998百万円となっております。当第1四半期決算における本件損失・費用計上の結果、匿名組合出資持分の価額はゼロとなりました。

(単位：百万円)

	2021年9月期 第1四半期
売上原価	490
営業外損益(純額で費用) (注)	507
費用・損失計上額	998

(注) AML案件に関する営業外収益のリース料、営業外費用の減価償却費、為替差損及び支払利息の正味合計となります。

なお、2020年12月末時点でのAML案件に係る資産・負債は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年 12月末
資産	
(販売用航空機)	13,982
(その他)	310
負債	
(ノンリコースローン)	14,267
(その他)	25
匿名組合出資持分残額	-

(注) 当該リース事業は、匿名組合出資及びノンリコースローンによって調達した航空機を航空会社へリースすることにより成り立っています。ノンリコースローンの返済原資は航空機の処分価額及び受取リース料等に限定されており、これらの合計額がノンリコースローンの要返済額に不足する場合でも、営業者又は当社がその不足分を補填する必要はありません。従って、これらのリース事業の資産・負債の差額として算定される匿名組合出資持分の価額はゼロを下回らないこととなります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	2021年9月期 (実績)		2021年9月期 (2020年10月30日付予想)		
	第1四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間		連結会計年度	
	2020年10月1日～ 2020年12月31日	2020年10月1日～ 2021年3月31日	前年同期比	2020年10月1日～ 2021年9月30日	前年度比
売上高	3,824	7,133	△14.0%	13,865	9.1%
リースファンド事業	2,911	5,423	△26.5%	10,545	△5.0%
不動産ファンド事業	663	1,100	92.5%	2,000	192.0%
FinTech事業	111	275	—	650	154.3%
その他事業	137	335	△4.3%	670	1.0%
営業利益	984	2,478	△20.8%	4,545	141.9%
経常利益	694	2,145	△33.3%	4,000	132.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	272	1,500	△32.2%	2,800	146.5%
リース事業組成金額	20,919			230,000	45.1%
出資金販売額	26,937			83,000	△12.5%

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,158,454	34,271,540
売掛金	490,535	587,528
貯蔵品	16,987	17,805
商品出資金	39,616,233	30,577,635
金銭の信託(組成用航空機)	34,038,201	28,812,325
組成用不動産	2,213,422	—
販売用航空機	14,665,370	13,982,399
営業投資有価証券	626,553	622,771
差入保証金	212,700	212,700
その他	7,425,987	5,540,299
流動資産合計	126,464,446	114,625,004
固定資産		
有形固定資産	462,861	471,050
無形固定資産		
のれん	1,403,568	1,352,666
その他	41,217	42,663
無形固定資産合計	1,444,786	1,395,330
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,481,187	2,678,234
その他	1,997,299	2,054,325
投資その他の資産合計	4,478,486	4,732,559
固定資産合計	6,386,134	6,598,941
資産合計	132,850,581	121,223,945
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	218,402	355,497
短期借入金	62,913,672	53,364,706
コマーシャル・ペーパー	4,500,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	5,466,270	5,306,690
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	1,405,861	1,727,969
未払法人税等	314,704	482,647
前受金	5,458,555	4,170,381
賞与引当金	365,663	335,890
事業譲渡損失引当金	—	242,700
受入保証金	749,000	783,000
その他	1,825,874	2,225,188
流動負債合計	83,218,003	73,494,671
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	8,202,950	6,789,620
長期ノンリコースローン	12,543,279	12,539,116
資産除去債務	107,523	118,499
退職給付に係る負債	24,449	25,035
その他	269,659	477,015
固定負債合計	22,147,861	20,949,287
負債合計	105,365,865	94,443,958

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095,874	3,095,874
資本剰余金	3,045,874	3,045,874
利益剰余金	23,686,052	22,977,239
自己株式	△2,498,720	△2,498,720
株主資本合計	27,329,079	26,620,266
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△109,010	△87,230
その他有価証券評価差額金	△767	△824
その他の包括利益累計額合計	△109,777	△88,054
非支配株主持分	265,414	247,774
純資産合計	27,484,716	26,779,987
負債純資産合計	132,850,581	121,223,945

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,698,972	3,824,698
売上原価	663,903	1,152,665
売上総利益	3,035,068	2,672,032
販売費及び一般管理費	1,537,640	1,687,636
営業利益	1,497,428	984,396
営業外収益		
受取利息	202,283	183,649
金銭の信託運用益	179,496	324,106
不動産賃貸料	37,192	36,472
持分法による投資利益	42,616	71,407
為替差益	2,510	—
その他	59,497	45,258
営業外収益合計	523,596	660,894
営業外費用		
支払利息	220,240	215,028
支払手数料	210,450	186,282
為替差損	—	348,618
不動産賃貸費用	6,488	2,675
減価償却費	—	192,122
その他	4,028	6,307
営業外費用合計	441,207	951,035
経常利益	1,579,818	694,255
特別損失		
関係会社株式評価損	2,775	5,797
事業譲渡損失引当金繰入額	—	242,700
特別損失合計	2,775	248,497
税金等調整前四半期純利益	1,577,042	445,757
法人税、住民税及び事業税	98,476	437,468
法人税等調整額	394,969	△240,066
法人税等合計	493,445	197,402
四半期純利益	1,083,596	248,355
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18,155	△24,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,065,441	272,751

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,083,596	248,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,837	△57
為替換算調整勘定	47,301	36,010
持分法適用会社に対する持分相当額	2,281	△7,473
その他の包括利益合計	54,421	28,480
四半期包括利益	1,138,018	276,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,111,472	294,474
非支配株主に係る四半期包括利益	26,545	△17,639

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月20日 定時株主総会	普通株式	4,696,488	53.00	2019年9月30日	2019年12月23日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の消却

当社は、2019年11月18日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、次のとおり実施いたしました。なお、この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,732,390千円減少いたしました。

- ① 消却した株式の種類 当社普通株式
- ② 消却した株式の総数 1,600,000株
- ③ 消却した株式の総額 1,732,390千円
- ④ 消却後の発行済株式総数 89,073,600株
- ⑤ 消却実施日 2019年11月29日

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年12月22日 定時株主総会	普通株式	981,564	11.50	2020年9月30日	2020年12月23日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り及び連結の範囲の判断を行う上での新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の決算短信(追加情報)(会計上の見積り及び連結の範囲の判断を行う上での新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)に記載しました仮定について重要な変更はありません。



(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額
	F P G	F P G AMEN TUM	F P G信託	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,233,797	398,732	23,102	3,655,632	43,340	3,698,972	—	3,698,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	950	9,646	3,203	13,800	—	13,800	△13,800	—
計	3,234,747	408,379	26,305	3,669,432	43,340	3,712,773	△13,800	3,698,972
セグメント利益又は 損失(△)	1,518,908	65,767	△30,063	1,554,612	△26,391	1,528,220	51,597	1,579,818

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額に、調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G証券」、「F P G保険サービス」及び「北日本航空」セグメントであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額
	F P G	F P G AMEN TUM	F P G信託	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,415,399	166,218	31,639	3,613,257	211,440	3,824,698	—	3,824,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,425	15,787	106,419	123,632	12,052	135,684	△135,684	—
計	3,416,824	182,006	138,058	3,736,889	223,492	3,960,382	△135,684	3,824,698
セグメント利益又は 損失(△)	713,175	△130,098	88,253	671,330	△19,417	651,913	42,342	694,255

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額に、調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G証券」、「F P G保険サービス」、「北日本航空」及び「F P Gテクノロジー」セグメントであります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めておりました「F P G信託」について重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。